

## 【水谷不動産の歩み：（現会長）水谷忠夫より】



①水谷不動産開業まで  
 1元々陸軍御用達の軍用品店として生計を立てていましたが、戦後になるとその傍ら、「着る物」がない時代背景に合わせ、古着屋を営んでいました。その需要が安定する頃には、**当時価値が低かった土地の値上がり**を予想して不動産屋を開業しました。それが昭和25年。父は本当に商売上手でしたね。私もその当時から不動産屋で働いてます。今年で69年。

②開業当初の業務内容は？  
 1住居が不足している時代。アパートに加え、家の部屋を簡易的に区切り貸す「貸間」も多かったです。その様な物件を探すことが初めの仕事。町を駆け巡り住民に聞き込んで情報を集め、契約が決まると情報提供者へお礼を渡す。電話すら無い時代、**人とのご縁の中でのお仕事でした。**

③兄弟（弟）とは仲良く仕事が出来た？  
 1喧嘩した記憶が無いです。役割が違いました。弟は物腰が柔らかい静かな人でした。私は不動産組合の支部長を長年務める程、人前に行く性格。まさに「静と動」。好かれるお客様も其々でした。特に弟は「書道・川柳・歌」が達者で、その道では名も知れていました。



## 【解体・リフォームのご相談もお任せください】

水谷不動産は多くの業者と協力体制にあります。



- 古くなった家を解体したいが安心できる業者を知らない
- 所有している貸家やアパートをリフォームしたい
- 畑や田を駐車場にしたい
- 駐車場の白線が薄くなったので引き直しをしたい

上記のようなことでお困りの方がお見えになりましたら是非一度水谷不動産にお問い合わせください！  
 当社と協力しています業者をご紹介しますので頂きます。

④兄弟を早くに亡くし...  
 1自身の書道作品を県の美術館に飾りに行った帰りの出来事。本当にあっけ無かった。当時の自分は支部長という役職で「良い氣」になっていた。亡くなって初めて、弟の支えがあつて支部長が務まっていた事に気づきました。

⑤息子との親子での仕事は？  
 1全く勉強しない子供でしたが、仕事熱心な面がありました。学生時代はアルバイトを頑張り、自分の貯金で車を買っていました。昔も今も親子喧嘩は絶えないですが、仕事を良くしていこうと必死に考え、実践している。そんな姿を見て自分が85歳になった時、第一線を退く決意をしました。

⑥不動産屋として大切なこと  
 1初めから売買なんて任せてもらえない。アパート1部屋が1棟の管理に変わり、やっとならば売買を任せられる。「アイツに聞けば間違いない」と思われるだけの関係性が必要だが、それはひと通り答えられる知識が前提にあつて、初めて信用が乗ってかってくる。我武者羅に頑張るのではなく、お客様様の大切な資産を預かる責任を忘れてはいけません。  
 （令和元年7月20日）



30歳中頃の会長

## ブログ ~幸江の想い出~



## 【幸江の日記】

皆様ご存知ですか？  
 今どきの結婚式で頂く引き出物。先日テレビを覗いたらビックリ！昔はピクニックの風呂敷を包まされた物でしたが、今は持ち運びが便利なカードの時代なんですって...確かに二次会に大きな風呂敷を持ち運ぶのは大変だと思いませんか？  
 あの、名古屋の嫁入りを見て育った私は凄く寂しいです。超重い袋の中には、披露宴中食べずに沢山残しておいた折詰、定番である鯛の塩焼など、わくわくしながら兄と一緒に箱を開けていたな...私には何回結婚式に出るのかな？孫と息子と...孫？